

手稲警察署でも、市民に対する啓発活動として、ヒグマを近づけない、ヒグマに遭わない、ヒグマに遭ったときに被害者にならないための冊子（スライド資料）を配布しています。

今後、クマ類が指定管理鳥獣となる見込みであり、その場合捕獲や調査などにかかる費用について国が支援する対象となります。より正確な生息数把握により、適切な個体数調整、管理が可能となります。一方、捕獲を担うハンターの高齢化や不足にも対処する必要があります。ヒグマによる人身被害の最も多くは、狩猟や許可捕獲の際に逆襲にあったものであり、誰もが簡単に捕獲に従事できるわけではありません。ハンターの養成や捕獲時の費用やその後の処理体制等についても早急に検討する必要があります。

北海道においても、今年度はヒグマ対策の予算が増額され、野生動物対策担当局長を新設するなど人員も拡充されることとなりました。今後各振興局において専門人材を活用しつつ、地域性を考慮したヒグマ管理を行っていくこととなります。

人間の安全な暮らしを守るために、ヒグマとのあつれきを減らさなければいけないことはもちろんですが、その先にある目標は、ヒグマは山で、人は街でと住み分けることによる共存ではないかと思えます。

★手稲区の歴史関連サイトのご紹介

札幌市手稲区役所ホームページ内にあります「手稲区史跡ガイドホームページ」「手稲区歴史ホームページ」をご存知ですか？手稲郷土史研究会が写真提供しております写真も紹介されております。お子様、保護者の方、親子で手稲区の歴史にご興味あるという方もぜひご覧ください。



手稲区史跡ガイドホームページ <https://www3.city.sapporo.jp/teine/teineguide/>

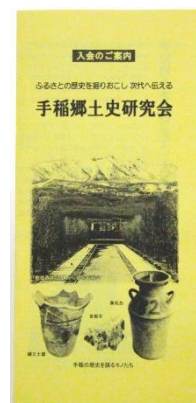
手稲区歴史ホームページ <https://www3.city.sapporo.jp/teine/index.html>

★手稲郷土史研究会会員募集中！

手稲郷土史研究会では、手稲区と手稲区に関する歴史・文化に興味があり、一緒に学んでいきたい方の入会を随時募集中です！毎月1回、手稲区内にて定例会を開催し、会員による研究発表や外部講師を迎えての講演等を行っています。定例会では会報誌「郷土史ていね」を配布し、希望する会員へ郵送、メールもお送りしております。年会費3,000円、入会金不要です。入会は入会申込書、またはメールからお申し込みください。折り返しご連絡致します。

入会申込書から…手稲郷土史研究会パンフレットにあります「入会申込書」に必要事項を記入し手稲郷土史研究会会員へお渡し、またはご郵送ください。

メールから…氏名、住所、電話番号、メールアドレスを記載し、手稲郷土史研究会メールアドレス teinekyoudoshi@gmail.com までお申し込みください。



手稲郷土史研究会
パンフレット

いただいた個人情報につきましては当研究会の活動にのみ使用し管理致します。

☆手稲区の歴史に関する情報募集中！手稲郷土史研究会までお寄せください！☆

次回定例会 ⇒ 発表内容「手稲に関わる和田家のルーツ」和田 敬友 氏（札幌アイヌ文化交流センター勤務）
5月8日（水）18：15～ / 手稲区民センター 3階 視聴覚室 ※会員でない方のご参加は事前の申し込みが必要です。